

## 中間市地域公共交通網形成計画推進事業の取り組みについて

### 1. 地域公共交通の課題

- (1) 中間市西部の公共交通空白地区への対策
- (2) 中間市東部の公共交通不便地への対策検討
- (3) 西鉄バス中間線をはじめとする路線バスの利用促進
- (4) 公共交通ネットワークとしての利便性向上による利用促進



### 2. 課題解決に向けた方策

- (1) 公共交通不便地の解消
- (2) 公共交通ネットワークの強化
- (3) 交通まちづくりに対する市民の意識向上



### 3. 地域公共交通の将来像（公共交通の方針）

体系的な交通ネットワークを整備するとともに、利便性の向上、交通環境の整備により周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築



**地域公共交通のネットワーク化**

#### 4. 中間市の公共交通まちづくりに向けた施策の概要

方 策	実施施策の概要
公共交通不便地の解消	<p>①中間市西部の空白地へ新たな公共交通の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通不便地である底井野校区へ公共交通を導入する。</li> </ul> <p>②中間市東部の高低差による不便地をサポートする移動手段の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 南校区コミュニティバスを検証することで、高低差による公共交通不便地の改善を検討する。</li> </ul>
中間市の公共交通ネットワークの強化	<p>①乗継拠点における乗継ダイヤの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通のネットワークとしての一体性を高め、各拠点へのアクセスの利便性向上や拠点間の連携強化のため、交通結節点での乗り継ぎに配慮したダイヤを検討する。</li> </ul> <p>②-1 乗継環境の改善（拠点バス停のバス待ち環境の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 乗継の拠点となるバス停において、バスを待つ環境の向上を検討する。</li> </ul> <p>②-2 乗継環境の改善（乗継拠点駅におけるバス情報の充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バス利用者がバスを利用するときに必要な情報を、手軽にわかりやすく提供し、利便性向上を図る。</li> </ul> <p>②-3 乗継環境の改善（IC カードの利用促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● nimoca 及び SUGOCA カードの利用環境拡大による利便性向上を図り、都心部での利便性向上や公共交通利用促進をめざす。</li> </ul> <p>②-4 乗継環境の改善（バス接近情報の提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● いつバスが来るかわからないという心理的抵抗感を軽減することで利用促進をめざす。</li> </ul> <p>②-5 乗継環境の改善（移動環境の改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ノーマライゼーションの理念に基づき、公共交通利用環境の改善をめざす。</li> </ul> <p>③他分野との連携等による地域全体で公共交通を支えるしくみづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元企業との連携によって、公共交通の維持に向けた取り組みをめざす。</li> </ul>
中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上	<p>①-1 交通まちづくりの周知（公共交通マップの配布）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の公共交通への意識向上及び利用促進に向けて、公共交通まちづくりに関する情報提供を行う。</li> </ul> <p>①-2 交通まちづくりの周知（モビリティ・マネジメントの展開）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民一人ひとりのライフスタイルに公共交通の利用が定着するよう、モビリティ・マネジメント※（MM）等の広報・啓発活動を行う。</li> </ul> <p>①-3 交通まちづくりの周知（高齢者の免許返納施策）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の免許返納に対して、公共交通の利用の支援策を検討する。</li> </ul>

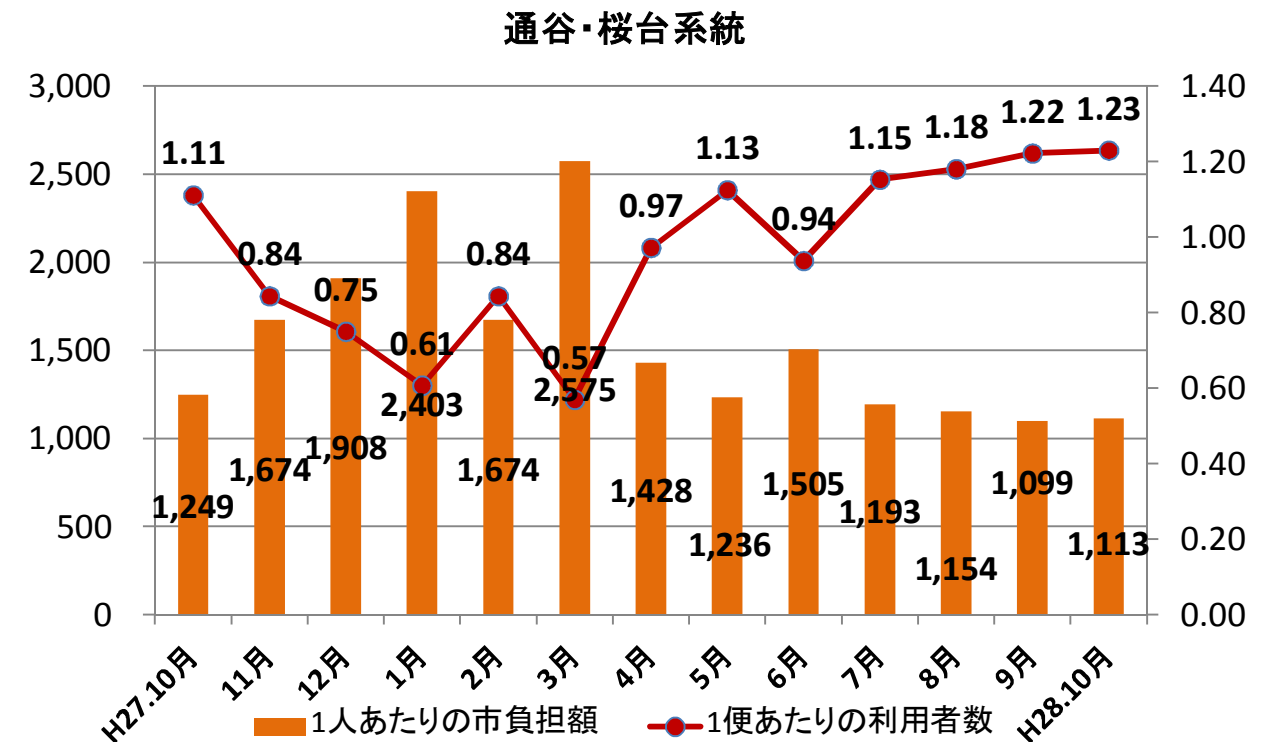
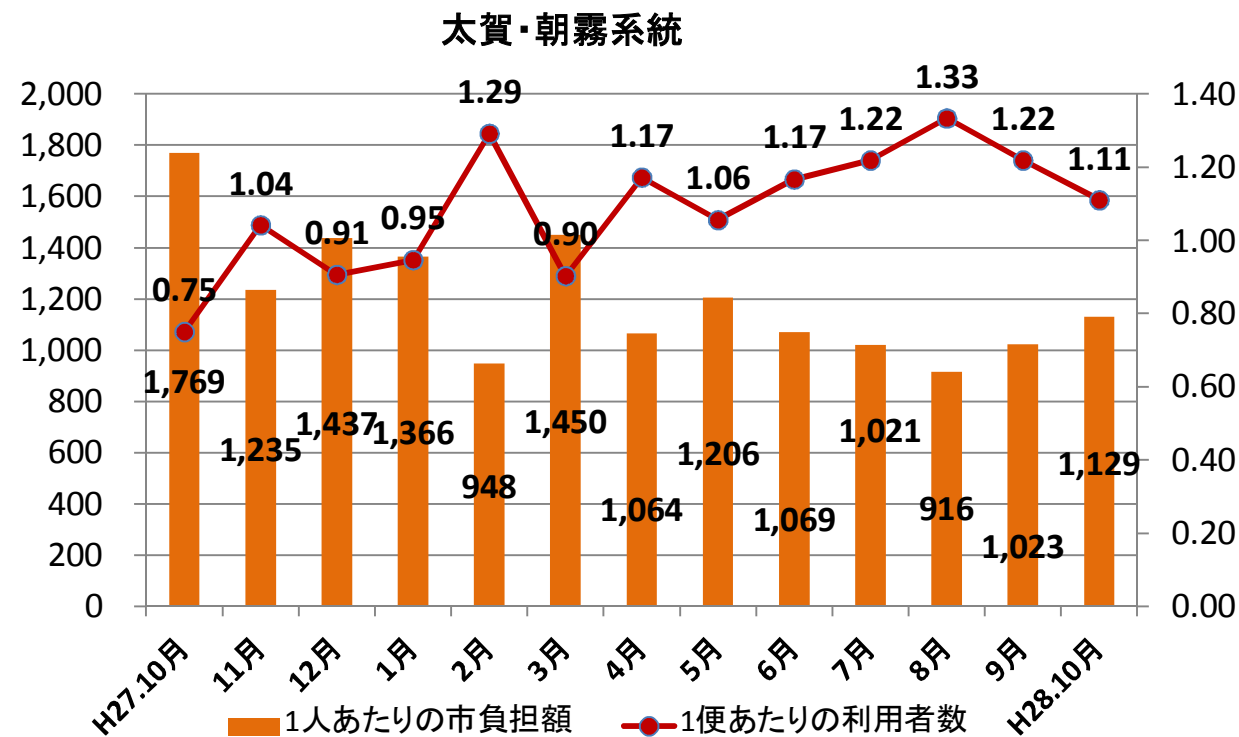
南校区コミュニティバス運行実績（H27.10月からH28.10月まで）

1. 路線全体(太賀・朝霧系統及び通谷・桜台系統の合算)

月	運行日数	利用者数	実車キロ	運行収入①			運行経費②	市補填額(②-①)	1便あたりの利用者数	収支率	1人あたりの運行経費	1人あたりの市負担額	キロ当たり運行経費	回数券使用率
				現金	回数券	計								
H27年10月	17	128	749.6	10,200	14,100	24,300	209,111	184,811	0.94	11.62%	1,634	1,444	279.0	58.0%
11月	17	129	746.4	8,100	15,100	23,200	206,227	183,027	0.95	11.25%	1,599	1,419	276.3	65.1%
12月	16	106	704.0	8,500	11,100	19,600	194,512	174,912	0.83	10.08%	1,835	1,650	276.3	56.6%
H28年1月	14	87	616.0	5,700	10,400	16,100	170,198	154,098	0.78	9.46%	1,956	1,771	276.3	64.6%
2月	17	147	746.4	5,500	22,200	27,700	206,227	178,527	1.08	13.43%	1,403	1,214	276.3	80.1%
3月	18	106	792.0	6,900	12,100	19,000	218,826	199,826	0.74	8.68%	2,064	1,885	276.3	63.7%
H27下期(10月-3月)	99	703	4,354	44,900	85,000	129,900	1,205,101	1,075,201	0.89	10.78%	1,714	1,529	276.8	65.4%
4月	17	145	749.6	8,900	18,400	27,300	207,111	179,811	1.07	13.18%	1,428	1,240	276.3	67.4%
5月	18	157	792.0	6,600	22,500	29,100	220,826	191,726	1.09	13.18%	1,407	1,221	278.8	77.3%
6月	17	144	746.4	8,800	18,300	27,100	207,227	180,127	1.06	13.08%	1,439	1,251	277.6	67.5%
7月	17	161	749.6	7,000	22,500	29,500	208,111	178,611	1.18	14.18%	1,293	1,109	277.6	76.3%
8月	18	181	792.0	6,100	28,700	34,800	220,826	186,026	1.26	15.76%	1,220	1,028	278.8	82.5%
9月	17	166	749.6	5,700	25,900	31,600	208,111	176,511	1.22	15.18%	1,254	1,063	277.6	82.0%
H28上期(4月-9月)	104	954	4,579	43,100	136,300	179,400	1,272,212	1,092,812	1.15	14.10%	1,334	1,146	277.8	76.0%
合計	203	1,657	8,933.6	88,000	221,300	309,300	2,477,313	2,168,013	1.02	12.49%	1,495	1,308	277.3	71.5%
(参考) H28年10月	17	159	746.4	6,000	24,000	30,000	208,227	178,227	1.17	14.41%	1,310	1,121	279.0	80.0%

※運行経費:670円/1.6km 80円/322mの公定幅運賃より算出。

2. 1便あたりの利用者数及び1人あたりの市負担額



◆南校区コミュニティバス「フレンドリー号」利用状況について（H27.10月～H28.10月）

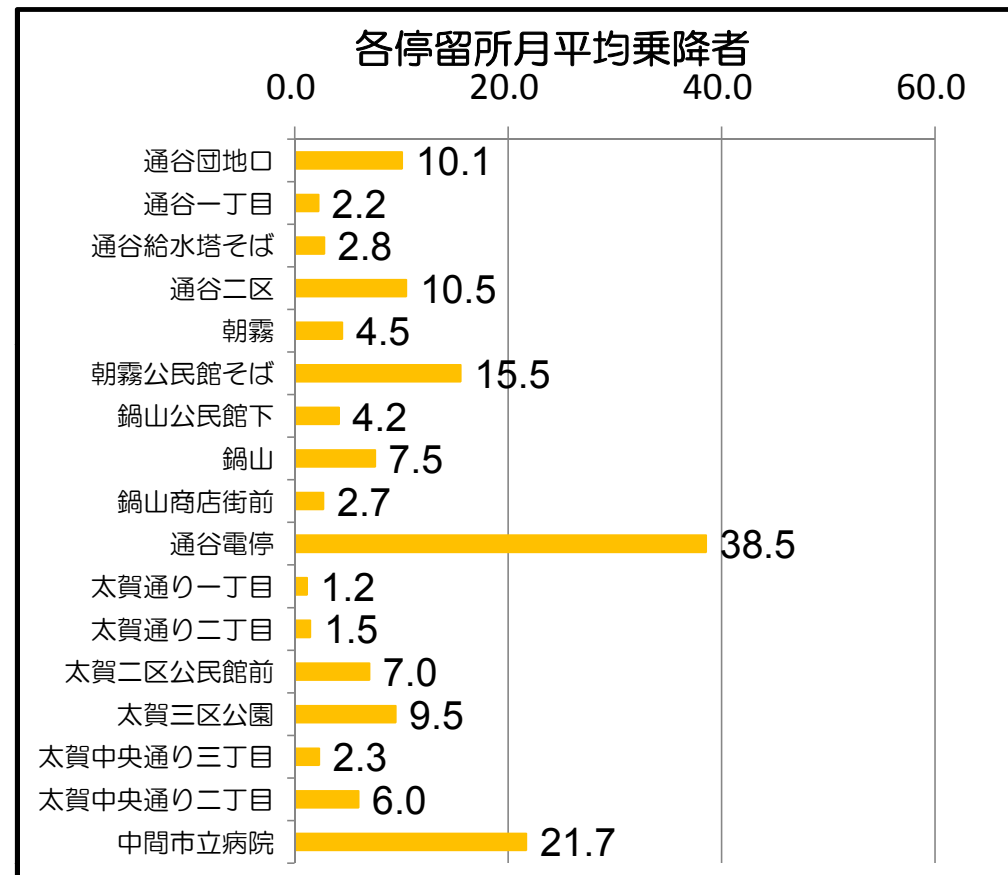
1. 太賀・朝霧系統（通谷団地口 ⇄ 中間市立病院）

(1) 月別利用者数

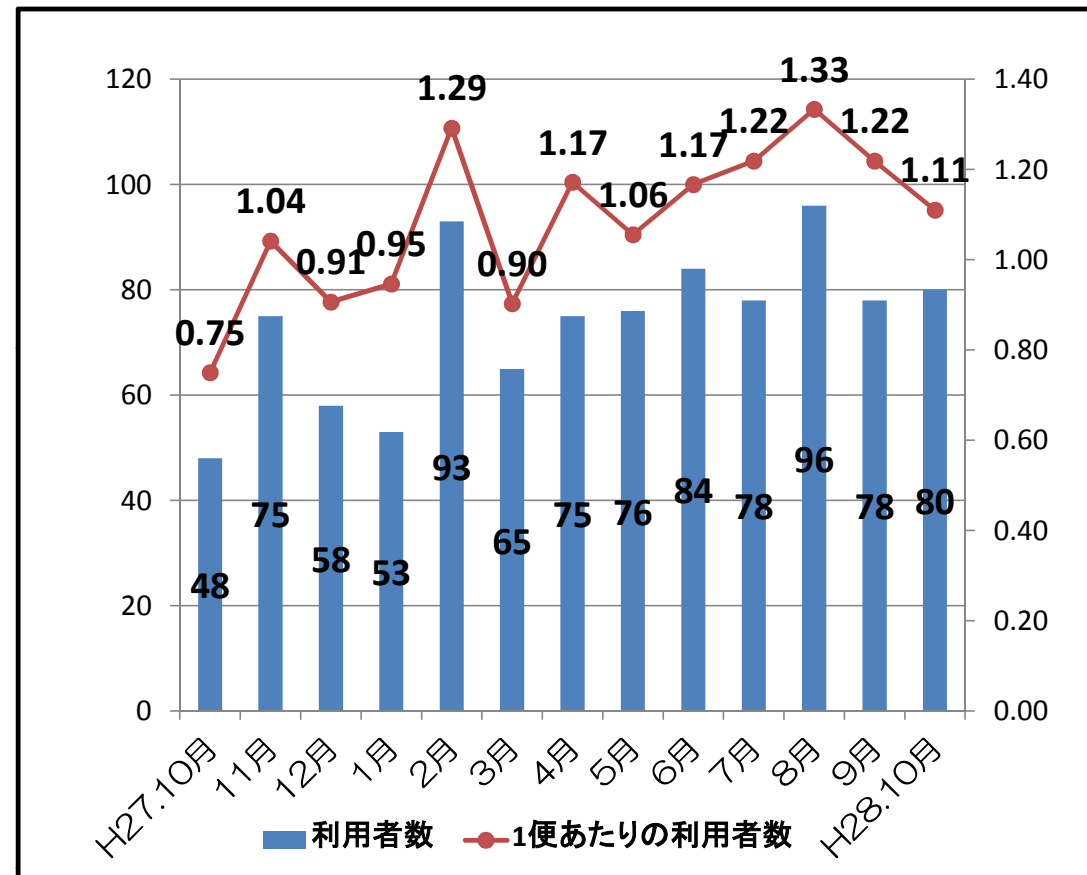
停留所名称	H27.10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		H28.10月		合計		各停留所乗降者計	各停留所月平均乗降者
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車		
通谷団地口	3	1	7	2	4	0	10	1	9	10	4	3	9	0	6	6	4	4	5	6	6	7	4	5	9	6	80	51	131	10.1
通谷一丁目	0	0	0	1	2	0	3	1	2	2	1	1	0	2	0	1	3	0	1	1	2	1	0	2	1	2	15	14	29	2.2
通谷給水塔そば	0	2	3	0	2	1	0	1	2	0	0	0	3	2	2	0	6	3	3	1	0	1	0	1	0	3	21	15	36	2.8
通谷二区	1	3	4	8	1	3	1	2	7	4	1	3	1	1	3	9	2	15	7	4	10	14	5	10	6	11	49	87	136	10.5
朝霧	2	3	0	3	0	1	1	1	1	3	1	0	3	0	0	2	2	1	2	6	4	10	1	1	4	6	21	37	58	4.5
朝霧公民館そば	9	7	10	8	8	6	7	5	11	4	12	9	10	8	9	7	7	6	8	7	7	5	9	9	7	7	114	88	202	15.5
鍋山公民館下	0	0	0	1	3	2	1	2	5	4	1	0	4	5	4	0	2	2	2	0	1	7	2	1	2	3	27	27	54	4.2
鍋山	0	2	3	7	0	5	0	6	7	7	3	3	0	4	6	6	3	3	4	6	4	2	3	4	6	4	39	59	98	7.5
鍋山商店街前	0	4	0	0	0	2	0	1	2	4	1	2	0	3	0	3	0	3	1	2	0	2	1	2	0	2	5	30	35	2.7
通谷電停	19	12	22	13	17	13	12	10	22	16	16	19	20	13	22	14	32	17	25	17	39	23	30	14	33	11	309	192	501	38.5
太賀通り一丁目	0	0	3	0	1	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	9	6	15	1.2
太賀通り二丁目	2	0	1	0	0	0	2	1	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	3	0	1	0	1	0	15	4	19	1.5
太賀二区公民館前	2	4	2	4	2	0	0	3	2	8	4	3	1	4	3	2	7	5	3	3	5	5	5	6	2	6	38	53	91	7.0
太賀三区公園	5	2	4	6	7	7	4	3	5	4	11	5	7	4	6	2	4	6	5	4	6	3	6	3	3	1	73	50	123	9.5
太賀中央通り三丁目	2	0	0	1	1	0	3	0	4	0	0	0	3	2	1	1	2	1	2	1	1	0	4	0	1	0	24	6	30	2.3
太賀中央通り二丁目	0	0	5	4	2	2	2	2	3	3	3	6	8	3	9	2	2	2	4	4	2	1	2	1	3	3	45	33	78	6.0
中間市立病院	3	8	11	17	8	14	7	12	9	22	6	11	5	23	4	21	6	16	4	15	6	15	4	18	2	15	75	207	282	21.7
計	48	48	75	75	58	58	53	53	93	93	65	65	75	75	76	76	84	84	78	78	96	96	78	78	80	80	959	959		

運行日数	8	9	8	7	9	9	8	9	9	8	9	9	8	9	8	9	110
1便あたりの利用者数	0.75	1.04	0.91	0.95	1.29	0.90	1.17	1.06	1.17	1.22	1.33	1.22	1.11	1.09			

(2) 各停留所月平均乗降者



(3) 月別利用者数及び1便あたりの利用者数



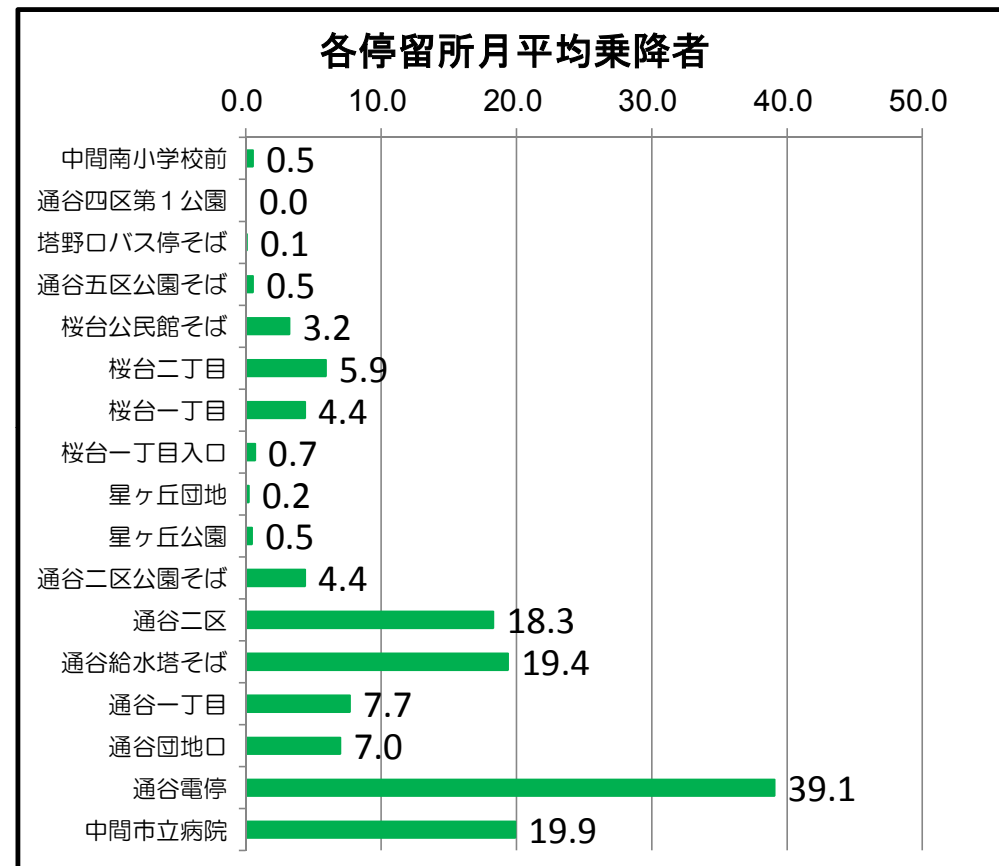
## 2. 通谷・桜台系統（中間南小学校前 ⇄ 中間市立病院）

### （1）月別利用者数

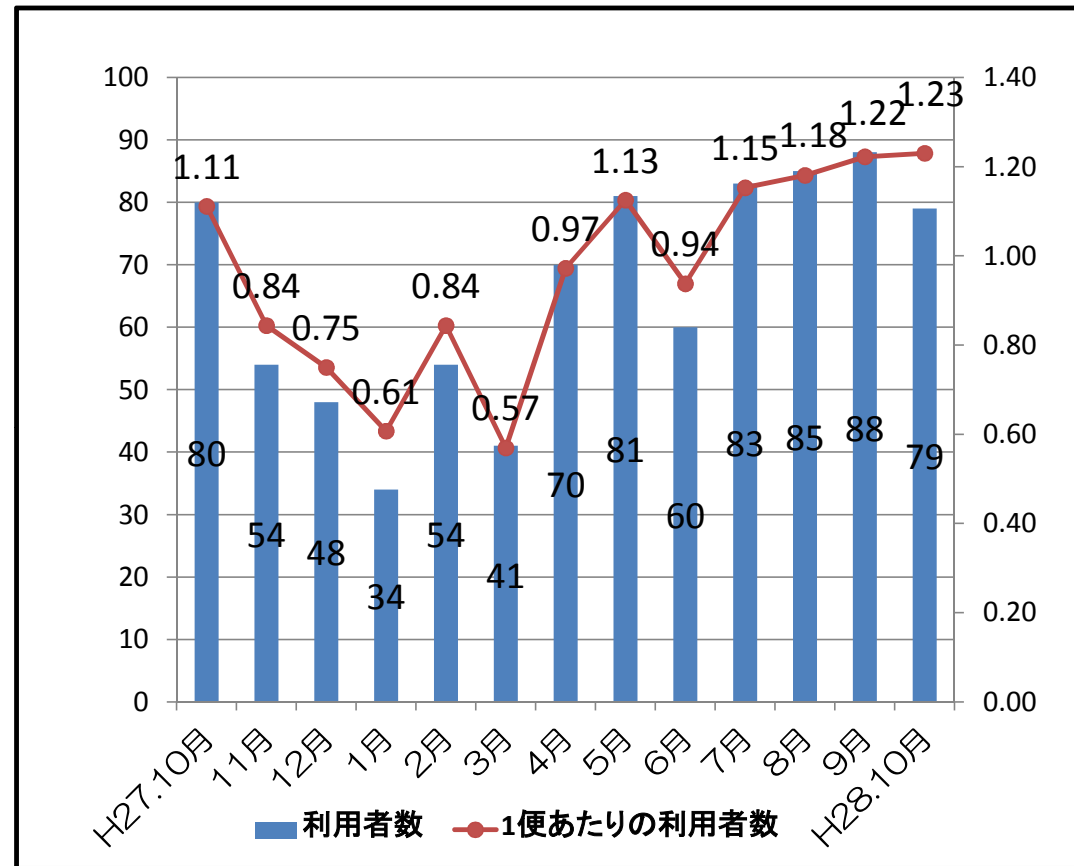
停留所名称	H27.10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		H28.10月		合計		各停留所乗降者計	各停留所月平均乗降者	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車			
中間南小学校前	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	4	7	0.5	
通谷四区第1公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
塔野口バス停そば	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1	
通谷五区公園そば	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	7	0.5	
桜台公民館そば	1	2	3	1	3	1	0	0	2	0	3	0	0	0	3	1	2	0	4	1	1	0	6	1	5	2	33	9	42	3.2	
桜台二丁目	2	0	7	0	6	0	5	1	4	2	4	1	3	0	6	2	4	0	6	3	12	1	1	3	4	0	64	13	77	5.9	
桜台一丁目	4	1	1	0	4	1	2	0	3	1	0	0	4	3	1	2	2	2	3	3	3	2	4	5	3	3	34	23	57	4.4	
桜台一丁目入口	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5	4	9	0.7	
星ヶ丘団地	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3	0.2
星ヶ丘公園	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	3	6	0.5	
通谷二区公園そば	5	4	4	0	2	2	0	0	2	0	1	0	0	6	0	2	2	0	0	5	1	4	2	6	2	7	21	36	57	4.4	
通谷二区	3	10	7	4	5	1	3	1	9	6	3	7	10	7	17	10	4	10	17	14	18	13	16	16	11	16	123	115	238	18.3	
通谷給水塔そば	8	7	5	11	6	8	4	11	6	11	3	9	8	16	14	14	13	16	9	13	5	14	10	12	9	10	100	152	252	19.4	
通谷一丁目	16	6	5	3	5	1	2	4	4	4	3	3	8	4	5	2	4	1	2	3	6	3	2	0	3	1	65	35	100	7.7	
通谷団地口	7	9	5	1	1	1	2	0	6	2	2	1	4	1	2	5	1	1	2	4	7	9	6	2	5	5	50	41	91	7.0	
通谷電停	24	14	11	14	9	21	14	10	13	10	16	9	30	11	28	17	27	11	37	19	30	25	37	23	33	15	309	199	508	39.1	
中間市立病院	2	22	4	17	6	11	2	7	4	18	4	11	3	22	4	26	1	19	3	18	1	14	2	18	3	17	39	220	259	19.9	
計	80	80	54	54	48	48	34	34	54	54	41	41	70	70	81	81	60	60	83	83	85	85	88	88	79	79	857	857			

運行日数	9	8	8	7	8	9	9	9	9	8	9	9	9	8	9	9	9	8	110
1便あたりの利用者数	1.11	0.84	0.75	0.61	0.84	0.57	0.97	1.13	0.94	1.15	1.18	1.22	1.23	0.97					

### （2）各停留所月平均乗降者



### （3）月別利用者数及び1便あたりの利用者数



# 南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関する

## アンケート調査及びモニタリングについて

運行開始1年となる南校区コミュニティバス「フレンドリー号」について、乗降データや住民へのアンケート調査によって、利用実態や住民ニーズを把握し、交通網形成計画に掲げた目標値の達成状況の検証や今後の運行計画の見直しに向けた課題整理を行う。

### 1. アンケート調査の配布及び回収状況

- (1) 調査対象 4,673 世帯
- (2) 調査期間 10月3日から10月19日まで
- (3) 回収方法及び回収率 郵送回収 32.1% (1,500 枚)

### 2. モニタリングの主な評価指標

項目	評価指標	分析データ	評価の視点
1	コミュニティバスの1便あたりの利用者数	乗降データ 既往データ	交通網形成計画の目標値と比較してどうか。
2	コミュニティバス利用者1人への市の負担金額		
3	中間南校区地区住民（65歳以上）のお出かけ回数の増加	アンケート調査結果	
4	公共交通利用割合の増加		
5	南校区コミュニティバスに対する満足度		運行時間、便数、運行路線数、ルート、運賃等は地域住民のニーズを満たしているか。
6	南校区コミュニティバスの認知度		地域住民に認知されているか。高齢者に対する認知度はどうか。

### 3. 交通網形成計画に掲げた数値目標（現状値から目標年度（H32年度）

#### 【公共交通不便地の解消】

- ・公共交通不便地B（高低差による不便地）に対する公共交通サービスの確立として
  - ①コミュニティバスの1便あたりの利用者数 0.91人/便 → 2.0人/便
  - ②コミュニティバス利用者1人への市の負担金額 1,495円 → 569円
  - ③中間南校区地区住民（65歳以上）のお出かけ回数の増加  
3.3回/週 → 3.4回/週
  - ④公共交通利用割合の増加 20% → 22%

- ・交通網形成計画の目標値の達成状況の検証
- ・南校区コミュニティバスに対する住民ニーズを把握、課題等を整理し、今後の利用促進に向けた方向性を検討

## 公共交通マップの作成について

計画策定のときに実施した市民アンケート調査では、公共交通の必要性が高い75歳以上の高齢者の約半数が公共交通を利用しないという結果となっている。今回の公共交通マップの作成では、市民全員に対して公共交通の利用を促すことを念頭に置きながらも、高齢者の運転による交通事故が社会問題となる中で、事故の防止や高齢者がいきいきと出かけ、社会とかわることができるよう高齢者の利用を意識して、高齢者の利用に配慮した公共交通マップの作成を行う。

### 公共交通マップの作成方針【基本コンセプト】

#### ①見やすい分かりやすいマップを意識

- ・見やすく分かりやすく、地の色は薄く、バス停や路線はカラーで色は濃くする。
- ・視認性を重視した文字の種類・大きさ・色彩を配慮する。
- ・高齢者にも優しい文字サイズを意識し、限られた紙面の中で必要な情報を示す。
- ・簡略化せず、全路線を網羅した位置関係が分かる地図を挿入する。

#### ②公共交通の利用促進につながる情報提供

- ・市役所や病院、商業施設などの重要施設の案内（写真）を掲載
- ・南校区コミュニティバスや底井野校区コミュニティバスの周知を図り、利用促進に向けた情報を提供する。
- ・バスを初めて利用する人等のため、バスの乗り方を掲載する。
- ・公共交通の利用を促すための利用促進啓発コラムを掲載する。

高齢者層に配慮して、『必要最低限の正確な情報を見やすく』をコンセプトとし、視認性を重視した文字の種類・大きさ・色彩への配慮に取り組み、誰もが利用しやすいものをつくることに注力する。



公共交通マップの作成目的：交通まちづくりに対する市民の意識向上

公共交通を知り、関心を持つ、その窓口となる情報ツールとして、市内全世帯に配布し、日常の移動手段の一つとして選択してもらおうきっかけとなる交通マップを作成する。